



デバイス正常性メトリック

この章では、デバイス正常性メトリックダッシュボードを使用して、デバイスの詳細なインサイトを得る方法について説明します。

- [デバイス正常性メトリックについて \(1 ページ\)](#)
- [ASAヘルスモニタリングの有効化 \(2 ページ\)](#)
- [デバイス正常性メトリックの一括オプトインまたはオプトアウト \(3 ページ\)](#)
- [デバイス正常性メトリックダッシュボードの表示 \(3 ページ\)](#)
- [デバイス正常性メトリックの障害対応 \(4 ページ\)](#)

デバイス正常性メトリックについて

Device Health Metrics ダッシュボードを活用して、ASA デバイスのパフォーマンスに関する詳細なインサイトを得ることができます。この機能を有効にすることで、主要なパフォーマンスメトリックを監視して、最適なデバイス動作を確保し、潜在的な問題を特定できます。

クラウド提供型ファイアウォール管理センターによって管理される Firewall Threat Defense デバイスでは、ヘルスモニタリングはデフォルトで有効になっています。詳細については、「[正常性モニタリング](#)」を参照してください。

デバイス正常性メトリックの利点

- **モニタリングの強化**：リアルタイムのデータスナップショットを使用して、デバイスのパフォーマンスに関するインサイトを得ることができます。
- **意思決定の強化**：詳細なメトリックを使用して、デバイス管理および障害対応に関するデータ主導の意思決定を行います。
- **効率的なリソース管理**：CPU、メモリ、およびインターフェイスの使用状況を追跡して、リソースを効果的に割り当てます。

ASAヘルスモニタリングの有効化

テナントレベルでデバイス正常性メトリックを有効にする必要があります。Secure Device Connector によって管理される Cisco ASA デバイスについては、個々のデバイスレベルでも機能を有効にする必要があります。これらの手順により、正常性データが収集され、ダッシュボード内で分析できるようになります。

この機能を有効にして使用するには、**ネットワーク管理者**のユーザーロールが必要です。

管理対象組織に対して Cisco ASA 正常性モニタリングを有効にするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [管理 (Administration)] > [一般設定 (General Settings)] を選択します。

ステップ 2 [Enable ASA Health Monitoring] トグルボタンをオンにして、テナントのデバイス正常性メトリック機能を有効にします。

デバイスタイプに関する考慮事項

- クラウドデバイスゲートウェイ (CDG) によって管理される Cisco ASA デバイスの場合、[General Settings] で [Enable Device Health Metrics] の トグルを有効にすると、正常性メトリックは有効になります。
- Secure Device Connector (SDC) によって管理される Cisco ASA デバイスについて、各デバイスの正常性メトリックを手動で有効にします。

1. [Security Devices] を選択します。
2. SDC 管理対象 Cisco ASA デバイスを選択します。
3. [Device Actions] ペインで、[Opt-in to Health Metrics] を選択します。

デバイスがすでにオプトインしている場合は、代わりに [Opt-out of Health Metrics] オプションが表示されます。

(注)

各 SDC は、最大 50 台の Cisco ASA デバイスの正常性メトリックのコレクションをサポートできます。

デバイス正常性メトリックの一括オプトインまたはオプトアウト

[Security Devices] ページでは、Secure Device Connector (SDC) によって管理される Cisco ASA デバイスの [Device Health Metrics] から一括でオプトインまたはオプトアウトできます。

手順

- ステップ 1 左側のペインで、[セキュリティデバイス (Security Devices)] をクリックします。
- ステップ 2 複数の Cisco ASA デバイスを選択して、正常性メトリックの設定を変更できます。
- ステップ 3 右側のペインの [Device Actions] で、[Opt in/Opt out Health Metrics] をクリックします。

[Opt in/Opt out Health Metrics] ポップアップが表示され、次の情報が表示されます。

- 検出されたデバイスの総数。
- SDC によって管理されていないデバイス。
- 現在の正常性メトリックで分類されたデバイスのリスト。

- ステップ 4 必要に応じて、[Opt out] または [Opt in] をクリックします。

デバイス正常性メトリックダッシュボードの表示

デバイス正常性メトリックダッシュボードには、ASA デバイスに関する重要なパフォーマンスデータの一元化されたビューが表示されます。このダッシュボードを使用してデバイスの正常性、リソース使用状況、およびインターフェイスの統計情報をモニターし、最適なネットワーク運用を確保します。

手順

- ステップ 1 左側のペインで、[インサイトとレポート (Insights & Reports)] > [レポートと分析 (Reports & Analytics)] > [デバイス正常性メトリック (Device Health Metrics)] の順にクリックします。
- ステップ 2 インターフェイスセクションで、ドロップダウンメニューからデバイスを選択します。選択したデバイスのすべてのインターフェイスが一覧表示されます。データは 5 分ごとに自動で更新されます。
- ステップ 3 ドロップダウンメニューから [期間 (Duration)] を選択するか、カスタム日時範囲を選択して、指定された期間中のインターフェイスのデータを表示します。
- ステップ 4 最大 4 つのインターフェイスを選択して、データを比較できます。

ステップ 5 [セキュリティデバイスの表示 (View Security Devices)] をクリックして、選択したデバイスに関する詳細を表示します。[デバイス正常性メトリック (Device Health Metrics)] ダッシュボードで選択したデバイスが [セキュリティデバイス (Security Devices)] ページで選択され、その詳細が右側のペインに表示されます。

- さらに、[セキュリティデバイス (Security Devices)] ページから、ASA デバイスを選択します。
- [デバイスアクション (Device Actions)] で、[正常性メトリック (Health Metrics)] をクリックして、[デバイス正常性メトリック (Device Health Metrics)] ダッシュボードを表示します。

デバイス正常性メトリックの障害対応

デバイス正常性メトリックダッシュボードにデータが表示されない次の理由を考えてみます。

- テナントの正常性メトリックが有効になっていない

回避策：[管理 (Administration)] > [一般設定 (General Settings)] の順に選択し、[ASA 正常性モニタリングの有効化 (Enable ASA Health Monitoring)] トグルが有効になっていることを確認します。これにより、テナント内のすべてのデバイスの正常性メトリックが有効になります。

- ASA デバイスがオンボードされていない

回避策：[セキュリティデバイス (Security Devices)] に移動して、ASA デバイスをオンボーディングします。モニタリングを開始する前に、デバイスが適切にオンボーディングされていることを確認してください。

- オンプレミス SDC を使用する個々の ASA デバイスに対して正常性メトリックが有効になっていない

回避策：オンプレミスの Secure Device Connector を使用して、各デバイスで正常性メトリックが有効になっていることを確認します。各 SDC は最大 50 デバイスのモニタリングをサポートします。

- デバイスに到達できない

回避策：デバイスの接続を確認します。デバイスがオンラインであることを確認します。接続の問題を確認し、トラブルシュートするには、[セキュリティデバイス (Security Devices)] ページに移動します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。